

## ネブラスカ州：小麦作柄と気象状況

2005年6月28日及び7月5日

2005年6月26日及び7月3日現在：

6月26日に終わる1週間のネブラスカ州の気象は、高温・湿潤であった。平均気温は各地で5~7度高く、1週間の降水量はNWでは0.32~2.13インチ、SW地区では0.41~2.13インチであった。州中央部が1インチ以下であった。1週間の州平均農作業稼働日数は5.4日であった。例年より早く冬小麦の収穫が開始されたが、降雨の為度々中断した。7月3日に終わる週では、気温は下がったが晴天の日が多かった。平均気温はNW(Panhandle)地区で平年を2~3度F下回り、SW地区でも2~3度F下回った。降水量は少なく、1週間の降水量は0.50インチ前後であった。冬小麦は全体の43%が完熟した。完熟は昨年並びに5年平均より遅れていた。収穫は全州の21%にて完了した。今期は登熟期に降雨が多く土壌水分が改善されたが、冬小麦の登熟のスピードが鈍った。作柄は前週より多少評価か上がった。収穫期に入ってからからの降雨が小麦の品位に影響した恐れがあるが、現在の処今期小麦の品質情報の発表は無い。

7月1日付けUSDAの冬小麦生産予想では、単位収量は6月1日付け予想より2.0 bushels/acre 減少し41.0 bu/acと成った。6月の完熟期の天候不順がマイナス要因となったと言える。完熟が遅れたが品位的には高容積重が期待できる。生産量予想の詳細は別表の通り。

2005年4月1日~7月3日の降水量：

	NW	NC	NE	CEN	EC	SW	SC	SE
This week	0.45	0.53	0.52	0.46	0.58	0.45	0.63	0.84
Total since 1/4/05	11.50	16.08	14.44	13.11	11.65	9.18	10.54	10.76
Normal since 1/4	7.90	9.31	10.96	10.30	11.40	9.01	9.96	11.43
Total as % of normal	145%	173%	132%	127%	102%	102%	106%	94%

土壌水分：2005年7月3日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Ave.
Topsoil				
Very Short (%)	2	1	11	23
Short (%)	27	18	21	31
Adequate (%)	70	76	64	44
Surplus (%)	1	5	3	2
Subsoil				
Very Short (%)	7	5	34	30
Short (%)	25	16	27	33
Adequate (%)	68	78	38	36
Surplus (%)	0	1	1	1

次ページ：

小麦の生育状況：2005年7月3日現在

	This Week	Last Week	Last year	5-Yr Ave.
Turning (%)	95	82	97	96
Ripe (%)	43	17	55	52
Harvested (%)	21	5	23	28

小麦作柄状況：2005年7月3日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	6	13	35	37	9
Last week (%)	7	13	36	34	10

Source: Nebraska Agriculture Statistics Service, USDA

7月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				June 1	July 1		
NE	1,650	1,700	37.0	43.0	41.0	61,050	69,700
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

当該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃：Email [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)